

令和6年度 基本施策評価シート

作成日

令和6年7月4日

基 本 施 策	E7	安全・安心で快適な道路・公園をつくれます		
2025年度に めざす姿	対 象		意 図	
	道路・公園が		安全・安心で快適に利用されている。	
第五次総合計画[前期基本計画]基本施策掲載ページ			142ページ	
基本施策主管課名	土木企画課	関 係 課 名	土木企画課、土木建設課、土木防災課、中央総合事務所地域整備1・2課、南総合事務所地域整備課	

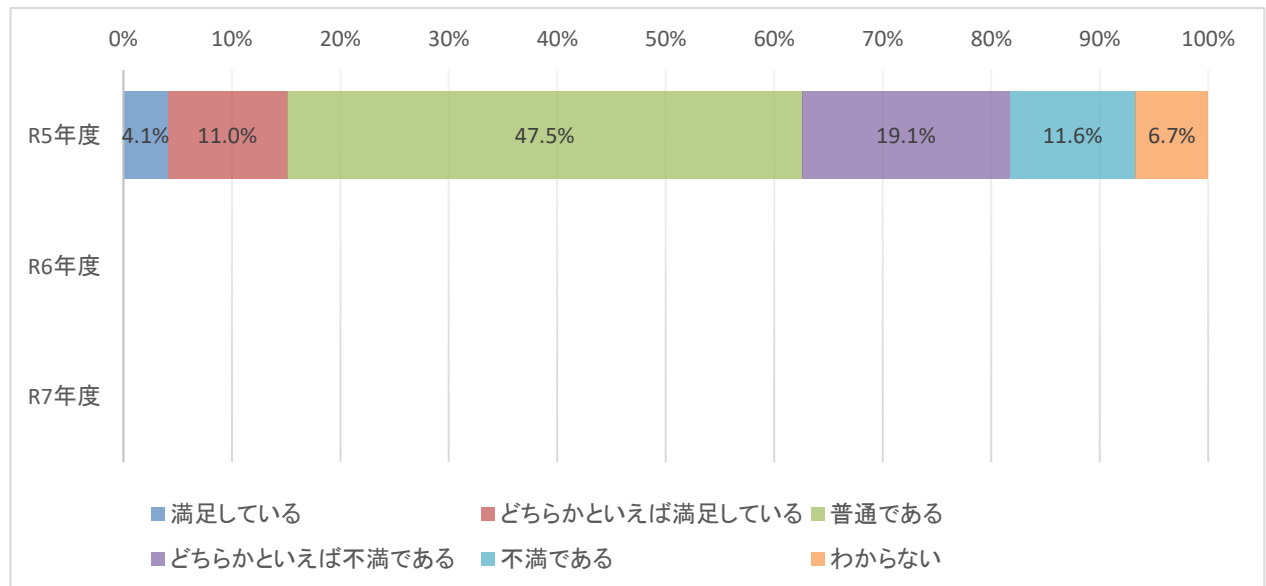
基本施策の総合評価

総括	●補助幹道路は、事業実施可能な箇所から事業に着手し進捗を図ったことで、市民が迅速かつ安全・快適に移動できる環境を一定確保しているものの、事業用地の取得の遅れなどによる事業長期化の課題が継続している。 ●道路構造物の長寿命化の推進についての成果指標である「補修工事を実施した橋梁数【累計】」は109橋（令和5年度末実績）で、2025年度（令和7年度）の目標数である128橋に向けて、順調に推移しているものの、対象となる道路構造物が多く、時間の経過とともに老朽化が進行している。 ●10公園の老朽化した遊具の更新や4公園の便所のバリアフリー化、また、横尾地区での再整備に係るワークショップの実施により公園が快適に利用できる環境を確保しているものの、対応すべき施設数が膨大であり市民ニーズも多様化しているため十分に対応できているとは言い難い。 以上を踏まえ、今後の主な取組みは次のとおりとする。
E7-1	●補助幹線道路は、各路線の進捗状況や優先度に応じた予算配分や整備内容の見直しによるコスト縮減を図り整備を進め、車みち整備事業とくらしの道整備事業は、要望路線において地元協議を進め事業の推進を図る。 ●定期的な点検を確実に実施し、最新の道路構造物の状態を正確に把握すると共に、措置を講ずべき状態の道路構造物を優先的かつ効果的に補修・補強を実施する。
E7-2	●公園の適正配置方針に基づいて、更新すべき公園施設の選択と集中を行いながら、長寿命化計画に基づき、公園の再整備を進める。 ●既存都市公園をそれぞれ特色を持った公園に再整備し、機能の再編を図る。

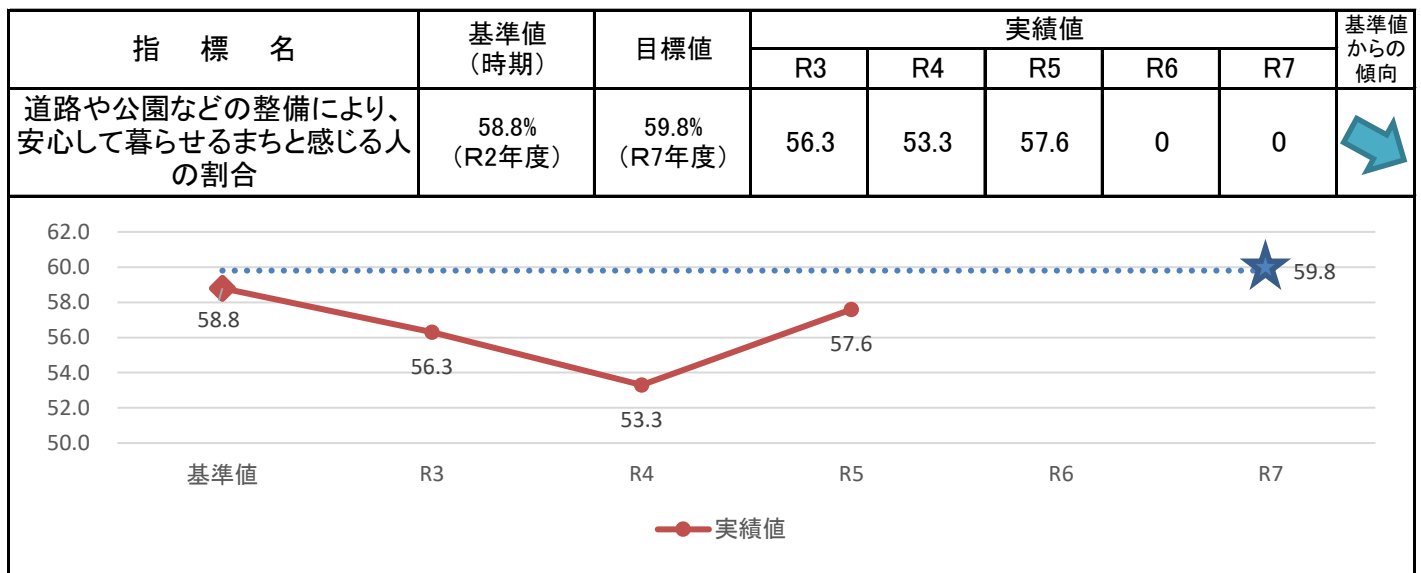
二次評価（施策評価会議による評価）

●	【E7-1】 「成果指標」には、無電柱化に係る指標があるものの、「成果」等にはないため、記載を検討すること。
●	【E7-1】 「問題点とその要因」の「①安全で快適な道路環境の確保」の「車みち整備事業」について、具体的な現状の問題点を記載すること。
●	【E7-1】 「③効果的な駐車・駐輪対策の推進」の「成果」、「問題点とその要因」、「今後の取組方針」について、市の現在の関わり方、その問題点・要因、今後の関わり方についての記載を整理すること。 また、「今後の取組方針」についても、「利用分散化」は、対策の一部であるため表現を修正すること。
●	【E7-2】 公園の整備については、市民のニーズおよび地域ごとの実情に応じた整備となるよう「選択と集中」を念頭に置きながら施策を進めること。

基本施策に対する市民満足度調査結果



成果指標



年度別 主な取組内容

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
・江平浜平線などの補助幹線道路の整備(L=285m) ・道路構造物の計画的かつ予防的な点検・管理・補修を行うことにより、道路構造物の長寿命化が図られ、道路の安全性が向上した。(橋梁補修工事11橋) ・公園の長寿命化(10公園)	・江平浜平線などの補助幹線道路の整備(L=160m) ・道路構造物の計画的かつ予防的な点検・管理・補修を行うことにより、道路構造物の長寿命化が図られ、道路の安全性が向上した。(橋梁補修工事12橋) ・公園の長寿命化(10公園)		

令和6年度 個別施策評価シート

個 別 施 策	E7-1	だれもが安全・安心で快適に利用できる道路をつくれます	
2025年度に めざす姿	対 象		意 図
	道路が		安全・安心で快適に利用されている。
個別施策主管課名	土木企画課		

成果

① 安全で快適な道路環境の確保

●補助幹線道路(江平浜平線、虹が丘町西町1号線など)の路線について、一部の用地取得が難航しているが、必要な用地の約6～9割は確保できており、事業実施可能な箇所から着手し道路整備の進捗を図ったことで、市民が迅速かつ安全・快適に移動できる環境確保の進捗が図られた。(E6-1の再掲)

●車みち整備事業においては、戸町41号線の一部整備など、くらしの道整備事業においては、春日町1号線や蚊焼町38号線など3路線における一部整備などの事業が進んだことにより、住環境の改善と防災性の向上に繋がった。

●籠町稲田町1号線、新市庁舎周辺道路について、無電柱化事業を継続して進め、工事の進捗を図ったことで、安全で快適な道路環境に近づいた。(E6-1の再掲)

② 道路構造物の長寿命化の推進

●定期点検を行い、その成果に基づく損傷度合いに応じて、橋梁のコンクリートひび割れや錆びた鉄筋の補修・補強を実施した結果、市道矢の平白木線の矢平橋ほか11橋の長寿命化が図られ、道路の安全性が向上した。

③ 効果的な駐車・駐輪対策の推進

●大型商業施設の駐車需要に対応するため、事業者と協議・調整を図ることで、臨時駐車場の確保や公共交通機関との連携などの対策を事業者を実施してもらうことで、一般交通に大きな影響がでるような交通渋滞が発生しなかった。

問題点とその要因

① 安全で快適な道路環境の確保

●現在整備中の補助幹線道路について、予算確保や土地の権利問題などにより一部の用地交渉に時間を要しているなど、事業が長期化している。(E6-1の再掲)

●車みち整備事業とくらしの道整備事業の事業化は、地元により事業用地の寄付などの地権者も含めた合意形成が必要となる中で、地権者の調査などに時間を要している。

●無電柱化事業における現在整備中の路線について、予算確保や各電線管理者との調整に時間を要し、事業が長期化している。(E6-1の再掲)

② 道路構造物の長寿命化の推進

●定期的な点検を実施し、効果的な補修・補強を進めているものの、事業対象となる道路構造物が多く実施に時間を要している。

③ 効果的な駐車・駐輪対策の推進

●大型集客施設管理者やイベント主催者が駐車対策を講じているものの、一時的な駐車待ちによる交通混雑が発生している。

今後の取組方針

① 安全で快適な道路環境の確保

新規	●補助幹線道路(江平浜平線や虹が丘町西町1号線など)の路線において、所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法に基づく関係法令が整備されたことで、土地相続の義務化により新たに発生する未相続問題の解決が図られることや、所有者が不明である土地を取得可能となったことなど、関係法改正に合わせて土地の権利問題等の解決を図ることなどにより用地買収を進め、引き続き整備を推進する。(E6-1の再掲)
継続	●住環境の改善と防災性の向上を図るため、引き続き、車みち整備事業とくらしの道整備事業については、要望路線において地元協議を進め、事業を推進する。
継続	●現在、無電柱化を実施している路線について、国などに対し予算確保に向けた要望を行うとともに、円滑な事業進捗を図るため各電線管理者とスケジュール調整を実施し、整備を推進する。(E6-1の再掲)

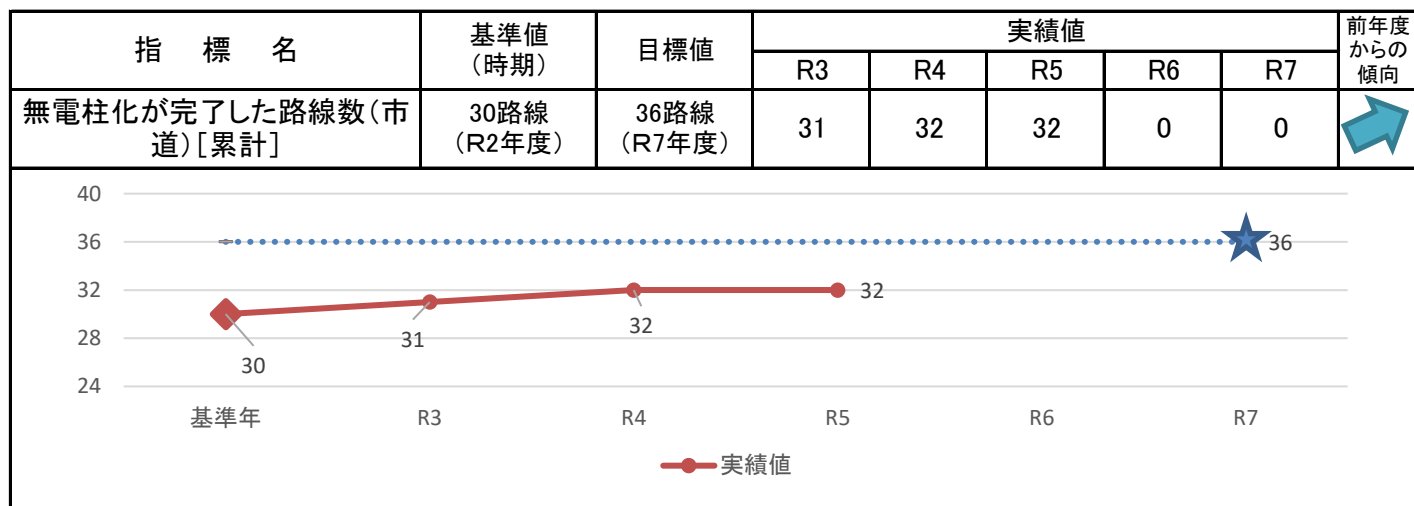
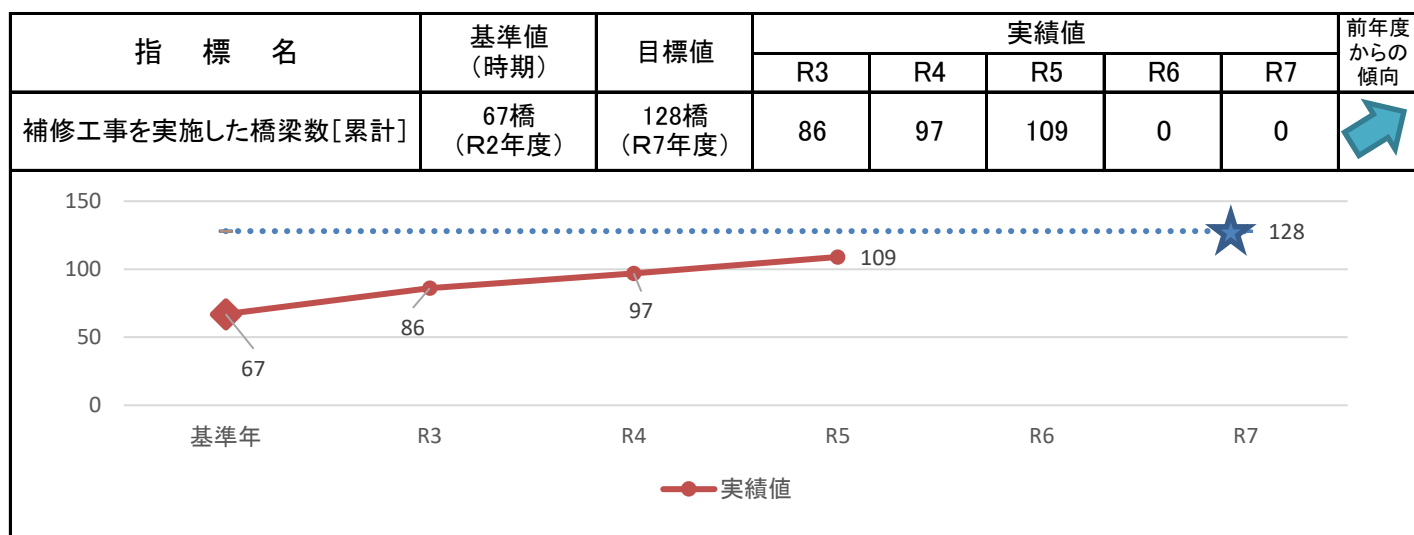
② 道路構造物の長寿命化の推進

継続	●定期的な点検を確実に実施し、最新の道路構造物の状態を正確に把握すると共に、措置を講ずべき状態の道路構造物を優先的かつ効果的な補修・補強を実施する。
----	--

③ 効果的な駐車・駐輪対策の推進

改善	●大型集客施設やイベント主催者と協議・調整し、一時的な駐車需要に対し利用の分散化を推進するため、ながさきマップで駐車場情報の効果的な発信に努める。
----	---

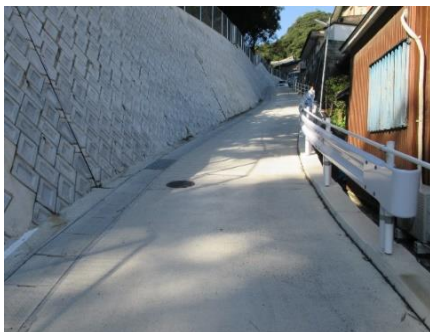
成果指標



施策を推進する主な事業

1	事業名 担当課	【補助】道路新設改良事業費 江平浜平線		土木建設課		
	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)				
	目標値	81.8%				
	総事業進捗率	81.8%				
	達成率	100.0%				
	当該年度執行率	100.0%				
	成果指標・ 目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。			【完成写真】	
	事業目的	江平地区の交通環境の改善及び居住環境の向上、市内交通混雑の緩和を図るため、道路の新設と拡幅改良を行うものである。				
	事業概要	【事業期間】平成9年度～令和11年度（認可期間 平成9年度～令和8年度） 【総事業量】L=2,260m、W=9.8m 【総事業費】4,600,000千円 【事業費累計】3,763,333千円				
取組実績	・工事L=160mを実施した。					
	決算(見込)額	62,000,000			円	

2

事業名 担当課	【単独】道路新設改良事業 車みち整備		中央総合事務所地域整備1・2課 南総合事務所地域整備課	
成果指標	事業進捗率(事業費ベース)			
目標値	75.4%			
総事業進捗率	74.0%			
達成率	98.1%			
当該年度執行率	63.0%			
成果指標・ 目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。		【完成写真】	
事業目的	密集市街地などの既成斜面市街地において、居住環境の改善と防災性の向上を図るため、車が乗り入れできない既存の市道を車が乗り入れできる「車みち」として整備を進めるもの。			
事業概要	【事業期間】平成25年度～令和10年度 【計画路線】32路線 【総事業費】1,380,000千円 【事業費累計】1,020,632千円			
取組実績	整備済路線:29路線(令和5年度末) 総延長約L=3400m			
	決算(見込)額	33,965,100円		

3

事業名 担当課	【補助】道路新設改良事業費 道路構造物等補強		土木防災課	
成果指標	事業進捗率(事業費ベース)			
目標値	68.0%			
総事業進捗率	66.8%			
達成率	98.2%			
当該年度執行率	76.5%			
成果指標・ 目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。		【完成写真】	
事業目的	道路構造物等の長寿命化を推進し、定期点検を行い、その成果に基づく損傷度合いに応じた補修・補強等を計画的に実施することで施設の老朽化対策を図る。			
事業概要	【事業期間】平成19年度～令和11年度 【総事業量】橋梁:928橋、トンネル:9トンネル 【総事業費】4,110,411千円 【事業費累計】2,845,317千円			
取組実績	・橋梁を含め道路構造物の計画的かつ予防的な点検・管理・補修を行う。			
	決算(見込)額		160,336,346	円

令和6年度 個別施策評価シート

個 別 施 策	E7-2	だれもが安全・安心で快適に利用できる公園をつくります	
2025年度に めざす姿	対 象		意 図
	公園が		安全・安心で快適に利用されている。
個別施策主管課名	土木企画課		

成果

① 安全で快適な公園の整備

- 公園施設の計画的な改修による安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るための公園施設長寿命化計画に基づき、みなと坂船の公園ほか9公園において老朽化した遊具等の更新を行ったことにより、利用者の安全性や快適性が向上した。
- 東望山公園ほか4公園の公園便所のバリアフリー化や男女別便所への建て替えなどを行ったことにより、利用者の安全性や快適性が向上した。
- 長崎東公園において、公園施設長寿命化計画に基づき、コミュニティプール屋根改修、照明器具LED化を実施したことにより、安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減が図られた。

② 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備

- 横尾地区の9公園において、地域住民などと開催したワークショップで再整備を行うにあたっての各公園のコンセプトをまとめた。

問題点とその要因

① 安全で快適な公園の整備

- 公園施設の維持管理費の低減を図るため、適切な点検や補修等の予防保全的管理を実施しているが、老朽化の進んだ施設数が膨大であり、十分対応できていない。
- 膨大な公園施設において同時期に更新時期がきており、公園施設長寿命化計画のとおり実施できていない。

② 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備

- 多様な市民ニーズがある中で、健康遊具や幼児用遊具等の各世代に応じた整備が十分対応できていない。

今後の取組方針

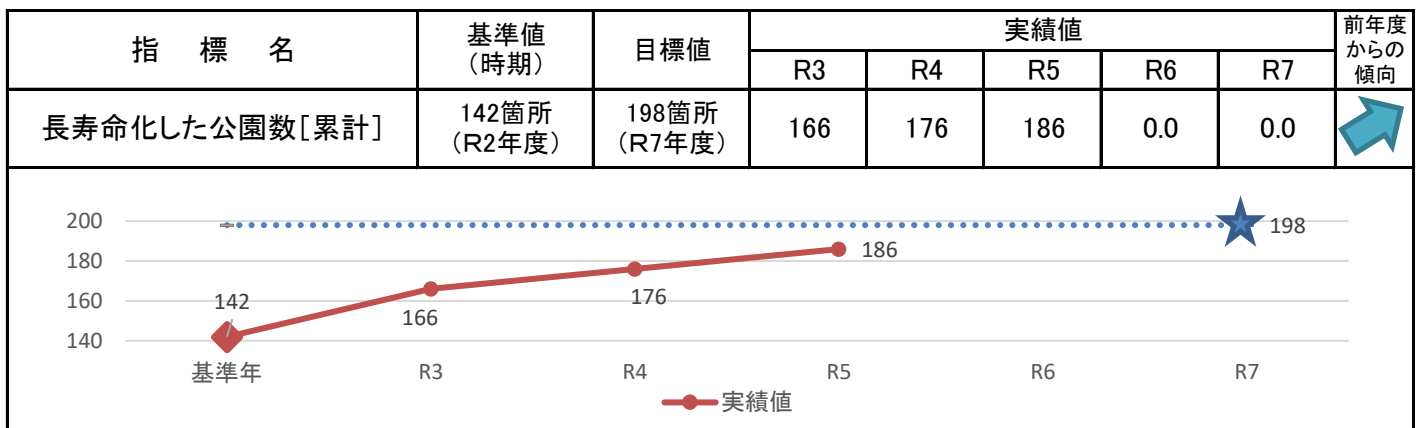
① 安全で快適な公園の整備

- 継続 ●膨大な公園施設に対し、公園の適正配置方針に基づいて、更新すべき施設の選択と集中を行いながら、長寿命化計画に基づき、公園の再整備を推進する。

② 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備

- 継続 ●立地適正化計画に基づき、子供から高齢者までが快適で暮らしやすい居住空間の構築を目的として、小学校区内にある既存都市公園をそれぞれ特色を持った公園に再整備し、機能の再編を図る。

成果指標



施策を推進する主な事業

1

事業名 担当課	【補助】公園等施設整備事業費 公園施設長寿命化 長崎東公園コミュニティプール施設改修		土木建設課	
成果指標	事業進捗率(事業費ベース)		 【着工前写真】	
目標値	48.3%			
総事業進捗率	48.3%			
達成率	100%			
当該年度執行率	100%			
成果指標・ 目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。			
事業目的	長寿命化計画に基づく老朽化した施設の改築、更新を行い、市民が安全、快適に過ごせる公園環境を整える。			
事業概要	コミュニティプールの屋根等の取替を行う。 【事業期間】令和5年度～令和6年度 【総事業量】屋根改修800㎡、外壁改修1,150㎡、照明器具LED化 【総事業費】194,400千円 【事業費累計】93,992千円			
取組実績	長崎東公園コミュニティプール屋根ほか改修工事 長崎東公園コミュニティプール照明器具LED化工事			
	決算(見込)額		93,991,600	円